



平成 22 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 **アンリツ株式会社**
代表者名 代表取締役社長 橋本 裕一
(コード：6754、東証第 1 部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
川辺 哲雄
(TEL 046 - 296 - 6507)

平成23年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想との差異並びに
通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、次のとおり、平成22年 7 月28日の平成23年 3 月期第 1 四半期決算発表時に開示した、平成23年 3 月期（平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日）の第 2 四半期連結累計期間業績予想から差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社は、平成22年10月27日開催の取締役会において、次のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年 4 月27日の平成22年 3 月期決算発表時に開示した、平成23年 3 月期の通期業績予想及び期末配当予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 平成23年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 業績予想数値との差異（平成22年 4 月 1 日 ～ 平成22年 9 月30日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成22年 7 月28日 発表)	35,000	800	0	△ 300	△ 2.35
今回発表実績 (B)	36,617	2,818	1,757	972	7.63
増減額 (B - A)	1,617	2,018	1,757	1,272	-
増減率 (%)	4.6	252.4	-	-	-
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成22年 3 月期第 2 四半期)	33,764	912	141	△ 126	△ 0.99

【差異の理由】

売上高については、主力の計測事業において、次世代携帯電話の世界共通方式となるLTE関連を中心にモバイル市場向け開発用計測器の需要が想定を上回って推移し、地域別では北米、アジアで需要が堅調に推移しました。

利益面では、計測事業での増収と売上総利益率の改善に加えて、グループを挙げて取り組んだコスト抑制効果もあり、前回発表予想を上回りました。

2. 平成23年 3 月期連結通期 業績予想数値の修正（平成22年 4 月 1 日 ～ 平成23年 3 月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成22年 4 月27日 発表)	77,000	3,800	2,500	1,500	11.77
今回修正予想 (B)	77,000	5,600	4,000	2,500	19.62
増減額 (B - A)	-	1,800	1,500	1,000	-
増減率 (%)	-	47.4	60.0	66.7	-
(参考) 前期実績 (平成22年 3 月期)	73,548	4,583	3,578	385	3.02

【修正の理由】

世界経済の減速により先行き不透明感が一段と強まるなか、円高に伴う競争力や業績への悪影響が懸念される厳しい事業環境にあります。売上高については、年初計画の維持に努める所存です。利益面については、第2四半期までの実績を踏まえ、想定為替レートの見直し、モバイル市場向けを軸とする計測事業での開発投資上積み等による費用増加も織り込み、営業利益、経常利益及び当期純利益について上方修正するものです。

(参考) 想定為替レート：1米ドル=85円

3. 平成23年3月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (平成22年4月27日 発表)		2.00	4.00
今回修正予想		4.00	6.00
当期実績	2.00	-	-
(参考) 前期実績 (平成22年3月期)	0.00	0.00	0.00

【修正の理由】

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営方針の1つに掲げ、連結当期純利益の水準に応じて連結純資産配当率(DOE)を上昇させることを基本に、事業環境や次期以降の業績の見通しなど、諸般の事情を総合的に考慮して剰余金の配当を行うことを利益配分に関する基本方針としております。

期末配当については、通期業績予想の修正に伴い、従来予想の1株当たり2円から2円増額して4円に修正します。これにより、年間配当金は1株当たり6円(うち中間配当2円)を予定しております。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。